たたかいはねばり強く

寄せ書きが貼りめぐらされている〃炭労を孤立させるな〃という総評のかけ声のもとに立つた、全国の仲間たちの支援にこたえるためにも、われわれは、さらに団結を強化し統一を崩すことなく、敵のあくらつな野望を徹底的にたたかなければならないときである。

激励電報殺到

二十七日現在で組合には激励電報が百五十一通届けられている。炭鉱の仲間はいうにおよばず、化学の仲間も鉄鋼、国鉄、バルブ、官公労、学習サークル、民主団体などほとんどが網羅されている。数多い激励文、寄せ書きの中から二、三紹介すると……

○弾圧に負けるな、首切り合理化絶対反対、断固はね返せ、共に頑張ろう（東京都職員労働組合）

○三百人の活動家の首切り許すな炭労の勝利を祈り共に闘うことを誓う（全九電労本部）

○全日本労働階級の運命を担い、不動の団結をもつて最前線に闘う三池炭鉱労働組合に深甚なる敬意を表す。われら勝利を確信す（向坂逸郎）

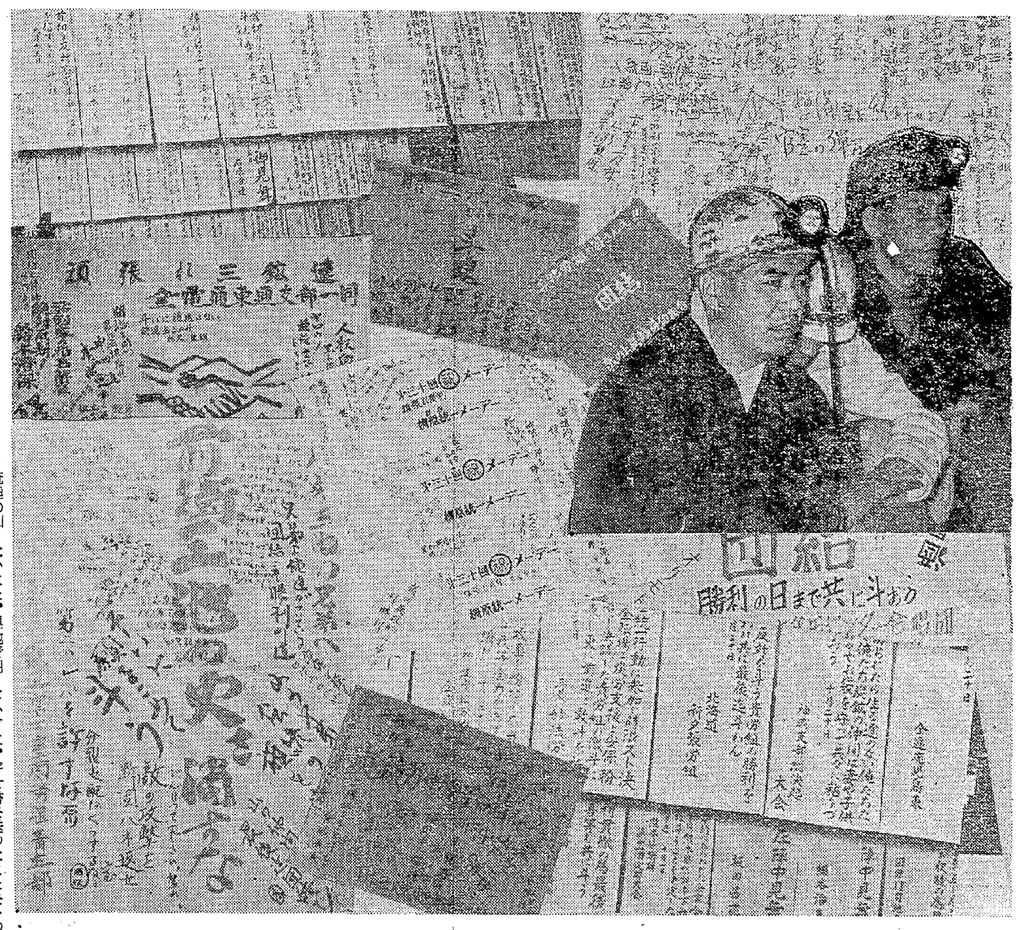
○思想改革をもくろむ会社の野望粉砕のため最後の勝利までともに闘かおう（大夕張総決議大会）

○組織を守り一人の首切りも許すな最後までともに闘かおう（合化労連）

続々と激励の手紙

全国から力強い支援の声

組合本部には全国の仲間からの激励電報とともに、激励の手紙もひつきりなしに寄せられている。小ヤマの仲間、遠くは北海道から、また小中学生たちの書きつづつた切々と胸をうつ激励の手紙などなど、闘いを軸として全国の働く仲間たちが一斉に闘争支援に立上つている。以下、これらの激励手紙を拾つてみよう……。



おじさん頑張れ

松原中一年　野田浩志

僕の家の隣りは家主さんですが、そこに「ミイ」という老犬がいます。ミイは夕方と、朝晩いうちに二回づつ近所の台所をのぞきに回ります。

朝は、僕の父が起きているときにくるそうですが、その巡回時間は、僕の弟や妹たちはまだ眠つているのです。

しかし、夕方食事時ミイがくるときには、弟や妹も家の近くにいて「ミイちゃん、ミイちゃん」と可愛がりますが、先日夕方ミイがきたとき三才の弟が「父ちゃん、ミイがオマイゲにやなあんなかやつかというて帰つた」といいましたので、母ちゃんも僕も妹たちも大笑いしました。

僕の家は八人家族ですが、父が失対に出ているだけの収入ですから、八人で鍋の底や釜の底まで食べてしまつて、残飯や残菜など少しも残りません。

弟がいうように僕の家にはミイにやれる残飯は何もないのです。

僕の父は三井の会社を辞めさせられて何年か商売をしていたそうですが、仕方なく失対に入つたそうです。

さいきん、父から製作所（三十二名）の皆さん方のご奮闘を聞いて僕は皆さん達のお姿を見たいと思いました。僕の父のように会社を首切られないよう、みんなで心を合せて一生懸命頑張つて下さい。父や父の仲間の人達がハチマキをしめて合唱している「しあわせの歌」にあるように「明るい社会」ができるまで、さいごまで頑張つて下さい。

資本家が強い国が、この地球からだんだん減つてきていると先生がいわれました。

労働者がみんな楽しい生活のできる世の中になることを、僕達もみなさん方にお願いいたします。そうなれば僕の家にミイが遊びにきても、残飯を弟がやれるようになるでしょうから。そのときにはミイはいうでしょう。「オマイげにやご馳走あるじやつか」と。

製作所のおじさん達、頑張つて下さい。

活動者を守れ

北海道三菱茶志内炭鉱　日下清之

毎日のご健闘ご苦労様です。私達も山の掘進夫として石炭とスモウをとつております。

このたび三池に出された一〇名の人たちを、三〇〇名から切り離して首を切る活動家のページには反対しております。一人といえど切らせないよう職場の者は願つております。

三池の皆様のご健闘を心から願つております。

兄弟頑張れ

北海道富士鉄労組　北川忠

〃三池の兄弟活動家諸兄へ〃

〃北海道の鉄鋼労働者から心からの握手を送る〃

〃炭労支援の闘いが職場から起こされつつある〃

〃三池の兄弟頑張れ〃

手を取り合おう

小倉炭鉱労組　児玉勲

〃俺達の知りたいこと、現地で闘つている情況が知りたい。頼む〃

さいごに、寄せ書を送つたことをお知らせいたします。

〃どんと来い〃を

中央合唱団

三作残留者三二名の兄弟達頑張つて下さい。

私も二十五年に三井山野を猛暑退職した一人ですが、そのご苦しみは一通りではありません。身に泌みております。

いかに会社がよいときいつてもその甘言に乗つてはいけません。さいごまで全組合員が団結していてこそ、勝利を導くのです。

現在はやゆもすれば第二組合的に出る人達がありますが、前途に大きな目を向けて見ればよくわかることです。

あなた達の後には、炭労の人たち全労働者が応援しております。私たちのシャベルも昨年の水害で人員は二四〇名になりましたが、前より以上団結して闘つておりますこんどもわれわれ労働者には多くの苦難の道があると思いますが、手をとり合つて前進しましょう。

今度臨時オルグとして闘争に参加し、いろいろとお世話になりました。無事五名帰京し〃日本のうたごえ祭典〃の成功のため活動しております。

こんどの闘争支援活動を通じ、日本の労働者の先頭に立つて闘う三池の労働者・主婦・子供と接することの出来た感激と、一人一人

ヤマの皆さん頑張れ

中国文化通信社　神田・佐藤・渡部

はげしい嵐の中で、働くものの権利をまもり、力づよくたたかいつづけている皆さんに心から敬意を表します。

別便で中国文化通信を送ります日本と中国との石炭問題、中国の炭鉱労働者がどのようにたたかつてきたか？　今はどうなつているか？　など、皆さんの学習の参考になれば幸いです。

私たちも自分の仕事のなかで安保条約や企業合理化や、その他の反動政策とたたかい、日本の平和独立、民主、中立を実現するために力をつくしたいと思つています少いけれど私たちのカンパ五百円を同封します。

たたかいつづける三井三池のヤマのみなさんガンバレ！

連日抗議と情宣

炭労の中央オルグ団

中闘指令第一二六号できまつた中央オルグ団一七六名（九州七六名北海道八〇名、常盤二〇名うち三池二〇名）は十一月十六日東京に集結し、連日座り込みと抗議を本社に行つてきた。

オルグ団は東京到着とともに、午後三井本社、日鉄本社に直ちに直行、抗議、座り込みを行つた。

三井抗議は抗議団人員数でも、会社は五名を主張、炭労は山元実態をよく知つて貰うためには最低二〇名を主張した。結局一〇名に落着いた。

「第一次合理化のときは不満であつたが、希望退職を認めて協力してきた。しかるに第二次合理化の追い討ちをかけ、じんもこの案は組合を根底からゆるがすものだ。絶対認めることはできない。また賃金遅払いをやつているのに、反面では首切り資金三〇億円の準備や、飛行機でビラをまくなど金が

ないという理由は納得できない。速かに首切り案を白紙撤回せよ」と迫つた。

この後、午後五時まで本社前で座り込みをやつた。

三井抗議団と併行して日鉄本社へも抗議団が直行、また三菱本社、雄別本社へも同様抗議を行い、座り込みを行つた。

その他、労金オルグとして他に一班を編成、労金闘争保に活躍した労金オルグは労金とタイアップして、労金離職闘争の実態をよく知つて貰い、労金離職を通じて協力を要請したがオルグが行つて翌日、早速五十万円を労金預金した組合もあつた。

他方、政府に対する抗議は、政治局員の協力を得て、十七日午前中に、総評、連盟、労働大臣、抗議団三〇名で抗議を行い政策に対する意見を述べて抗議文を手交して引揚げた。

街頭情宣も行う

十八日には総評抗議団一〇〇名と合流、三井本社へ抗議を行うとともに、三井ビル中庭で三〇〇名全員デモを行つた。

こうして連日、座り込み、抗議をつづけたのである。

また、おりからひらかれた総評臨時大会には、一、二班は大会傍聴を行つた。

二十一日は東京都内五カ所で決起大会がひらかれた。オルグ団も一班は上野公園、二班は新宿地区の大会に参加、炭労闘争の山元における実態を報告し、日比谷公園までのデモには、先頭に立つて意気を示した。

また、翌日からは座り込みの他に市内でのビラまきを行い、九州班は東京駅、有楽町駅を中心にビラまきを行い、通行人に闘争の理解と支援を訴えた。

（写真は本社前の座込み）

一方、会社では二十一日希望退職の掲示を出すと共に、退職金試算表を個人宛に郵送したり、傍系会社の就職斡旋などでPRを行つており、社宅内では区長を中心として肩叩きの準備をしている。組合では相談所を設けて問題をかかえている組合員とじつくり相談したり、会社の肩叩きに対しては監視班を編成して社宅を巡回している。

◇崎戸労組

十一月十九日東崎居住区分会では

三カ月ぶり団交

長期に闘う主婦と生活労組

炭鉱ストを前に、会員二万余名が組織されている。

連帯ストも決議

十一月二十七日の炭保阻止のゼネストを前に、全国総連東京地連では、今夏、長野大会で決議された炭鉱ストの批准を促進するため、さらに炭労、全逓、地連傘下の諸闘争を勝ち抜く態勢を強化するため話合つたが、この時点で主婦と生活労組のために連帯ストをふくむ強力な闘争態勢を組むべきであるという問題提起などもあり、会議は成功裡に終つている。

また、全国総連第七回青婦部大会で、これまでの定期カンパいがいに、独自に十円カンパを行うことを決定、印刷ストツプに向つて連帯ストを決議、中央闘争委員会に提議した。

三カ月ぶりにひらかれた団交には会社側から大島秀一社長など、組合側は三役、地評、出版労協の代表などそれぞれ七人が出席、双方の見解を述べあつたのにとどまりなお長期闘争が予想されている。闘争を勝ち抜かせるため、われわれはさらに不売運動を呼びかけなければならない。

ここ行なわれている現地の意向を十分に尊重して、こんどの戦術については委員会が指令することになつている。

指名解雇で会社挑戦

雄別労連では実力行使を背景に十一月二十三日から団交を行い、会社側の一方的勇退募集の即時中止と、企業防衛隊の撤回を求めたが会社側は、職員者の強制勇退勧告および、優先指名解雇の決意を有するむねその態度を明らかにしてきた。

おれたちの闘いは
おれたちの力は長れられ
おれたちのたつきは地につき
おれたちの明日は
やつと明るくなつたのに—。

失地回復の夢に懲かれた奴等には
〃仇くものの明日〃への起点
みいけの〃火〃がそんなに怖いのか
政府・権力を駆立てての　集中砲火だ。
だが、全組織労仇者はしつている
明日のために
みいけの「火」は守られねばならないと。

総評三百万の愛の手が
炭労二十万の血の温味が
国の隅々から押寄せてくる　集つてくる。
おれたちの声が谺となつて返つてくる。
「みいけ」の手は
全国労仇者の手に繋がつている。
「みいけ」は「みいけ」だけじやあない
〃みいけの火を消すな〃と叫ぶ
全国の仇くものの手で
十重二十重に守られている。

仲間よ!!
ダイナマイトに火をつけろ!!
いまこそ「みいけ」十年の
汗と涙の蓄積を爆発させて
奴等の野望を粉々に噴きとばせ!!

「みいけ」の火は働くものみんなの火
「みいけ」の火はみんなで守られる。

（詩）